



フラタナス



本気・勇気・元気 / 「保護者、地域と共にあゆむ明峰小学校」

令和6年7月19日

オリンピックイヤー！思い出に残る夏休みを！

校長 鈴木克彦



今日が、1学期終業式です。71日間あった1学期でしたが、「1年生を迎える会」「縦割り班開き」「縦割り給食」「元気っ子まつり」など、クラスや学年の仲間だけでなく、異学年との交流等を通して、一人一人が心も体も成長できたと思います。また、日々の授業の様子、校庭で遊ぶ姿、廊下をすれ違い時のあいさつ、もくもく清掃、笑顔で下校する姿見ていて、「あたり前のことをあたり前に」それぞれが持っている力を発揮し、頑張っているなど感じています。この後、教室で担任の先生から「あゆみ」が配られますが、「あゆみ」には、この4ヶ月でみなさんが頑張ったことやできるようになったこと、もう少し頑張れるといいなと思うことなどが、言葉で書かれています。「あゆみ」を通して自分の生活を振り返り、書かれていることを自分のこととして受け止め、「チャンス」そして「チェンジ」で、これから生活につなげてほしいと思います。



さて、明日から41日間の長い夏休みに入ります。今年は、第33回オリンピック競技大会が、7月26日（金）～8月11日（日）フランスのパリを中心に、「パリ2024オリンピック」として行われます。

先日、「パリ2024パラリンピック」に参加する所沢市出身の「競泳・西田選手」「ゴールボール・男子、女子チーム」の壮行会が所沢市役所で行われました。明峰小学校の児童も参加し、質問をしたり、応援メッセージを送ったりすることができ、オリンピックに触れる機会がありました。前回行われた東京オリンピックでは、メダル獲得という結果だけでなく、練習してきたことを信じ仲間と頑張る様子、競技の挑む真剣な姿から、たくさんの感動をもらったことを記憶しています。今回の「パリ2024オリンピック」でも、選手からたくさんの感動をもらえることを信じ、拍手と声援で選手を応援しましょう。（校長先生は、陸上競技を楽しみにしています。）そして、オリンピックを通して、「努力はうらぎらない」「最後まであきらめずに頑張る」ということを選手から学び、今年も、参加するみんなが感動を覚える「運動会」につなげてほしいと思います。

「夏休み」をダラダラと過ごし、気が付いたら「明日から2学期」とならないように、一人一人がめあてもって、計画的に過ごしましょう。

今年も、「夏祭り」や「盆踊り大会」が、各自治会によって開催されます。保護者や地域の方々への感謝の気持ち忘れずに、「夏のイベント」も楽しめるといいですね。そして、水の事故や交通事故、怪我等に気をつけながら、1年生にとっては「初めての夏休み」、6年生にとっては「小学校生活最後の夏休み」、明峰小学校のみなさん一人一人の心に残る、素敵な夏休みにしてほしいと思います。

充実した夏休みを過ごし、成長したみなさんと、8月30日（金）に、2学期始業式で会えるのを楽しみにしています。

